エコアクション２１

環境経営レポート

（令和６年６月～令和７年５月）

株式会社　安 部 電 業 社

令和　７年　６月１７日 作成

目　次

1	環境経営方針	P1
2	会社の概要	P2
3	実施体制	P3
4	環境経営目標	P4
5	環境経営計画	P5
6	目標に対する実績	P6
7	評価結果及び今後の活動	P7
8	環境関連法規への違反・訴訟等の有無	P8
9	代表者による全体評価と見直しの結果	P9

環境経営方針

未　来　へ

【はじめに】

近年、環境問題が常にニュースになり、異常気象は私たちの生活に多大なる被害をもたらしています。また2011年3月11日に発生した東日本大震災は多くの犠牲と被害をもたらし、各種ライフラインをも寸断し、私たちの心に大きな傷を残しました。また熊本地震では、ここ大分でも甚大な被害が出てしまいました。

人々が近代的な生活を行っていく上で、環境負荷をかけない事は出来ないと思います。しかし低減は出来ると信じています。当社は、電気工事を通じてそのお手伝いをし、お客様にそして社会に貢献する会社でありたいと考えています。

【基本理念】

当社は、自然環境に恵まれた大分県を拠点に、社会的責任を自覚し事業を通じて明るい豊かな社会の実現を目指します。

その一歩として、愛する郷土の美しい自然を守り、次世代へと引き継いでいく為、『基本方針』を定め、積極的に推進していきます。

この取組みが企業の社会的責任や公共的使命に基づいているのは勿論ですが、社員一人一人の“社会人としての倫理観や道徳観”も醸成されること。そして省エネの観点から業務改善を推進することで、無理・無駄・ムラのない健康で持続可能な企業文化の創造を目指します。

【基本方針】

当社は、基本理念に基づいて地域社会に貢献していくために、エコアクション２１による環境経営管理システムを構築し、次に示す行動指針を着実に実施することにより、事業活動全体を通して環境負荷低減に努め、継続的改善を実践します。

１．環境負荷を低減し、資源を大切にします
　① 電力、化石燃料の使用を工夫し、二酸化炭素排出を削減します
　② 廃棄物を分別管理し、３Ｒ推進により資源の有効活用を図ります
　③ 水を大切にし、排水量を削減していきます

２．事業活動に伴う環境配慮を進めていきます
　① 省エネ商品の提案及び環境に配慮した製品の情報を常に収集し、積極的に啓蒙及び提案します
　② 施工にあたっては、騒音、振動、大気、河川、土壌に配慮した工法を選択します
　③ 備品や消耗品は、グリーン購入を進めていきます

３．当社が関係する環境関連法規等を遵守します

４．当社の環境活動に関する情報は、毎年発行する「環境経営レポート」により公表します。

５．全従業員が、本環境方針に基づく環境目標や成果を共有し、全員参加による取組みを持続していきます。

更新日　平成２８年　６月１日
株式会社　安 部 電 業 社
代表取締役　安　部　　太

会社の概要

○　会社の概要

1）　名称及び代表者名

株式会社　安 部 電 業 社

代表取締役　安 部　　太

2）　所在地

本社　　大分県大分市花園二丁目４番４４号

倉庫　　大分県大分市広瀬町１丁目１番６１号

3）　環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者　　安部　太

TEL：097-544-1465　　FAX：097-543-9004

4）　事業規模

資　本　金　　：　20,000,000円

社　員　数　　：　15　名　（令和７年６月１日現在）

事業所延床面積　：　374.31 ㎡

5）　事業内容

建設業許可番号　：　大分県知事許可（特－ 4）第197号

許可の種類　　：　電気工事業

建設業許可番号　：　大分県知事許可（般－ 4）第197号

許可の種類　　：　電気通信工事業　・　消防施設工事業

事業内容　　：　電気設備工事　・　電気通信工事

消防設備工事　・　交通信号機工事

6）　環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　：　安部　太

担当者　　：　代表取締役

電話番号　　：　097-544-1465

FAX番号　　：　097-543-9004

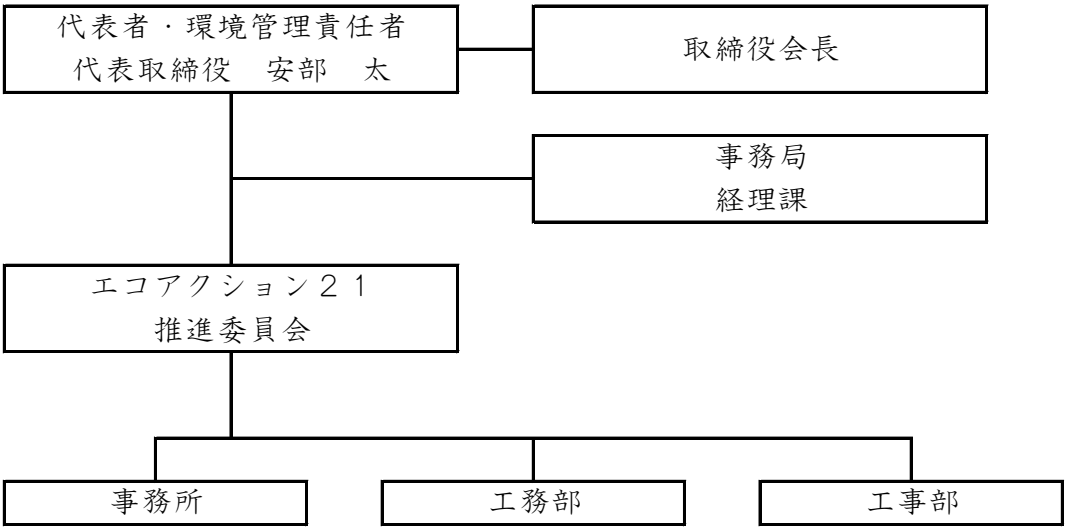
e-mail　　：　info@abeden.co.jp

7）　認証登録対象

全組織及び全活動を対象とする。

会社の実施体制

○　会社の実施体制



○　役割と責任

代表者	安部太	①環境経営の最高責任者 ②環境方針の制定 ③環境経営システムの評価、全般的な見直し
環境管理責任者	安部太	①環境経営システム全体の構築・運営の責任者 ②環境経営システム実績等の代表者への報告 ③環境経営目標、環境経営及び環境経営計画書の確認、指示 ④環境経営目標、環境経営計画の進捗確認と修正の指示・実施 ⑤環境経営システムに関する問題の明確化と記録の総括 ⑥環境情報の外部への連絡 ⑦環境経営レポートの作成 ⑧教育と訓練の総括 ⑨緊急事態発生時の判断
事務局	宮﨑澄子	①環境管理責任者の代行及び環境経営の全社的な推進 ②環境データーの取りまとめ（集計） ③環境文書発行・管理の実務 ④その他、EA21事務全般
社　員		①環境経営方針、経営目標の理解 ②環境経営の理解と実施 ③環境法規制の遵守 ④緊急事態の予防策、対応策の実施 ⑤内部コミュニケーションの実施 ⑥改善の為の提案

環境経営目標

【各年度の対象期間は、決算年度　6月～翌年5月】

管理番号	選択課題	令和６年度実績	令和７年度目標	令和８年度目標	令和９年度目標
1	二酸化炭素排出量削減	48,373 kg-CO2	前年度比 △1%	前年度比 △1%	前年度比 △1%
1-1	電力消費量削減	29,713 kWh	前年度比 △1%	前年度比 △1%	前年度比 △1%
1-2	ガソリン消費量削減	6,203 L	前年度比 △1%	前年度比 △1%	前年度比 △1%
1-3	軽油消費量削減	7,655 L	前年度比 △1%	前年度比 △1%	前年度比 △1%
2	廃棄物の分別管理と再資源化率向上	適正な実施管理	オフィスゴミは分別管理により再資源化を図る 産業廃棄物は、再資源化率の向上を推進する		
2-1	コピー用紙の購入量削減（一般は起き物の削減）	150.031 Kg	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
2-2	産業廃棄物の再資源化率向上	88.8 %	前年度比 1%	前年度比 1%	前年度比 1%
3	水使用量削減	347 m^3	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%	基準年度比 △1%
4	お客様への省エネ商品の提案、環境関連情報の提供	適正な実施管理	主な提案結果や情報提供の内容は記録する。 情報の収集にも努め、主な事項は記録する。		
5	業務の効率化による環境活動の推進	日報の徹底	業務の効率化による環境活動の推進。社員の積極性を出させる。		
6	生産性の向上	日頃の声掛け	コミュニケーションの充実（報告・連絡・相談）		

※2020年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：0.479kg-CO2/kWh【九州電力(調整後)】を使用

環境経営計画

管理番号	目標課題	具体的な行動（活動）	対象部門
1	二酸化炭素排出量削減		
1-1	電力消費量削減	1.昼休みの消灯	全部門
		2.部署毎の点灯	事務所
		3.空調機フィルターの定期点検(年２回)	営　業
		4.照明器具を省エネタイプに更新(中長期計画)	営　業
1-2	ガソリン消費量削減	1.乗車前の点検（タイヤ空気圧など）	運転者
		2.エコドライブ講習の参加	運転者
1-3	軽油消費量削減	1.乗車前の点検（タイヤ空気圧など）	運転者
		2.エコドライブ講習の参加	運転者
2	廃棄物の分別管理と再資源化率向上		
2-1	オフィス廃棄物の削減	1.紙の分別（裏紙利用促進）	事務所
		2.エコプリントの実践	事務所
2-2	産業廃棄物の再資源化率向上	1.細かく分別し、再生業者へ排出する	工務・工事部
3	水使用量削減	1.トイレの水量調節(大・小の使い分け)	全部門
		2.洗濯時の水量をチェック	全部門
4	お客様への省エネ商品の提案、環境関連情報の提供	1.照明器具やエアコンの積極的提案	全部門
		2.太陽光発電設備の積極的提案	全部門
5	業務の効率化による環境活動の推進	1.月一会議（安全・効率）の実施	全部門
		2.省エネ型建設機械の利用促進	工務・工事部
6	生産性の向上	1.コミュニケーションの充実	全部門
		（報告・連絡・相談）	

目標に対する実績

期間の活動実績
（令和6年6月～令和7年5月）

※令和６年度の数値目標は、令和５年度を基準年度として△1％を目標値として取り組んだ。

選択した課題				単位	基準年度	目標値	実績	結果
1	二酸化炭素排出量	二酸化炭素		kg-CO2	36,939	36,570	48,373	×
		電力消費量		kWh	25,328	25,075	29,713	×
		ガソリン消費量		L	5,465	5,410	6,203	×
		軽油消費量		L	4,700	4,653	7,655	×
2-1	コピー用紙の購入量削減	コピー用紙購入量		kg	215.769	213.611	150.031	○
2-2	廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	産業廃棄物	総排出量	kg	5,631	－	4,038	－
			再資源化量	Kg	4,532	－	3,584	－
			最終処分量	Kg	948	－	454	－
			再資源化率	%	80.5	81.3	88.8	○
3	水使用量	上水		m^3	415	411	347	○
4	お客様への省エネ商品の提案、環境関連情報の提供	対象商品、情報を整理する。提供の実績を管理（記録）する。		－	適切な管理の実施	適切に管理する。	適切に管理できた。	○
5	業務の効率化による環境活動の推進	日報の徹底		－	適切な管理の実施	適切に管理する。	適切に管理できた。	○
6	生産性の向上	コミュニケーションの充実（報告・連絡・相談）		－	出来ていない。	まずは声掛けを行う。	まだまだ不十分。	△

※各年度は、当該年度の6月～翌年5月とする。
※当社は、工事及び事務所・倉庫で該当する化学物質は使用していません。
※「結果」欄：目標達成＝○　未達成＝×　向上している＝△

評価結果及び今後の活動

期間の活動実績
（令和6年6月～令和7年5月）

環境目標（令和６年度）			結果	評価及び今後の取り組み
1	温室効果ガス排出量削減	令和５年度比　△1％	×	前年度のガソリン使用量が大きく削減できた為、その反動で６年度は排出量が増えてしまった。７年度は目標達成出来るよう努力します。
1-1	電力消費量削減	令和５年度比　△1％	×	６年度は残念ながら残業が多くそれに伴い電気使用量が増えました。７年度は残業を減らし、電気使用量削減を目指します。
1-2	ガソリン消費量削減	令和５年度比　△1％	×	前年度のガソリン使用量が大きく削減できた為、その反動で６年度は排出量が増えてしまった。７年度は目標達成出来るよう努力します。
1-3	軽油消費量削減	令和５年度比　△1％	×	今年度はトラックや高所作業車の作業が多かった為、軽油使用量が増えたと思われます。エコドライブ活動に力を入れたいと思います。
2	廃棄物の分別管理と再資源化向上	廃棄物の分別管理と再資源化向上を進める	○	再資源化率も全体の排出量も大きく削減できた。７年度も引き続き削減を目指します。
2-1	オフィス廃棄物の削減	分別基準の策定と管理方法の設定	○	コピー用紙購入量削減が達成出来ました。引き続き裏紙の使用促進に力を入れたいと思います。
2-2	廃棄物排出量の再資源化率の向上	令和％年度比　＋1％	○	今年度はやっと達成できました。次年度もより厳しく活動していきます。
3	水使用量削減	令和５年度比　△1％	○	前年度から始めたタオルを止めペーパータオルにし、洗濯による水使用料の削減に取り組み始めた効果が出ていると思われる。
4	お客様への省エネ商品の提案、環境関連情報の提供	適切に管理する。	○	管理できた。次年度も積極的に省エネ商品（太陽光・LED照明・高効率エアコン等）の提案を行います。
5	業務の効率化による環境活動の推進	日報の徹底等。	○	次年度も日報の徹底を継続し、業務の効率化に繋がる事を積極的に取り入れます。
6	生産性の向上	日頃の声掛け	△	今年も社内会議を充実していきます。これをマンネリ化せず為になる様続けていきます。

※「結果」欄：目標達成＝○　未達成＝×　向上している＝△

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。また、過去３年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

主な適用される法規制等とその遵守状況を「環境関連法規等の取りまとめ表／遵守評価記録」を用いて、令和7年6月12日の代表者による全体評価と見直しで報告しました。

遵守評価日　令和7年6月12日

法規制等名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器の取引	遵守
建設リサイクル法	元請けの場合、発注者に届出事項を記載した書面を交付し、説明を行う	遵守
道路交通法・道路法	工事の許可（道路使用許可・占用許可）	遵守
電気事業法	事業用電気工作物を経済産業省令で定める技術基準に適合するように維持	遵守
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検実施・第一種特定製品の取引	遵守
大気汚染防止法	改修工事における石綿事前調査	遵守

代表者による全体評価と見直しの結果

残念ながら今年度は前年度に比べ温室効果ガス排出を量削減出来ませんでした。これは前年度ガソリン使用量が大きく減ったことが大きかったと思われます。その反動で今年度は目標達成できなかったと思います。

産業廃棄物の再資源化率及び産業廃棄物の総排出量は削減出来ました。
これは産業廃棄物に対する意識も改善出来始めた結果ではないかと考えています。これからも社員全員でさらなる向上を目指したいと思います。

コピー用紙の購入量と水の使用量は削減出来ました。水に関しては前年度からタオルを廃止しペーパータオルに切り替え、これにより洗濯に使用していた水道水を削減出来たと思います。みんなで意識してこれからも削減に取り組もうと思います。

近年の異常気象は我々の対策を凌駕してきているように感じます。昨年当社前の道路が水没する集中豪雨がありました。水没したのは15年ぶりぐらいです。その間に排水ポンプが設置されました。しかし今回はそれでもダメでした。
環境変化による影響は少なからず出てきているように感じます。50年に1度・100年に1度が毎年の様に起き異常気象は異常で無くなりつつあるのかもしれません。今年も更に記録的な暑い夏が予想されています。

私たちの活動自体は小さいですが、これがムーブメントとなり環境保全の一助となることを期待しています。

今後もこれまで以上に、環境に対する意識向上を図り、環境に対する取り組みを推進していきましょう。

環境目標は令和６年度実績を基準に見直しを行う。

環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制・環境経営システムは継続する。

令和7年6月17日

株式会社　安　部　電　業　社

代表取締役　安　部　　太